

# 東京都心におけるウミネコ屋上繁殖個体群の移動追跡

グループ名：都心ウミネコ研究グループ

メンバー：松丸一郎、澤祐介、富田直樹、佐藤達夫、奴賀俊光、平田和彦、樋口広芳

## ■ はじめに

東京都心のビル街では、ウミネコの屋上繁殖が2013年に確認されて以来、毎年約100羽が複数の建物屋上に小集団を形成して繁殖しています。人の居住区域内であることから、鳴き声による騒音、糞害等の問題が発生しており、翌年の繁殖期開始前に営巣防止策が講じられると、別の建物で営巣し、繁殖地域が変動しています。そのため、都心で繁殖するウミネコの生態は不明な点が多く残されています。本来、沿岸・島嶼の岩礁などで繁殖するウミネコが、どのように都市環境に適応しているかを探ることは、生態学的にも、また被害を防止し、人と野生動物の共存を探るためにも重要なことと考えられます。



写真1. 屋上営巣地のウミネコ



写真2. 屋上営巣地で雛を連れたウミネコ

## ■ 2017年における予備調査結果

そこで、2017年にはビルの屋上に形成された営巣地の一つで、抱卵初期から巣立ちまでの間、定期的なモニタリングを実施し、またマーキングを行い(成鳥:羽毛の着色、雛:足環(白色プラリング)装着)、観察記録を収集しました。その結果を以下に記します。

- (1) 合計33卵(18巣)のうち14羽の雛が巣立ち、成功率は42%であった。この成績は青森県蕪島における報告(3~29%、(富田・成田 2017))よりも高い値を示した。
- (2) マーキング個体は近くを流れる川を約6km 遡った地点から5km 下った河口付近まで観察され、営巣地から南北11km以上の行動圏をもつ。
- (3) 餌種はスズキ、コノシロ、カタクチイワシ、イシガレイ、マハゼなどの魚類。

以上のように、ウミネコは都心でも、周辺で十分な餌量を確保される環境にあり、自然営巣地に比べても良好な繁殖成績であることが知見として得られました。



写真3. マーキングされた幼鳥(左足に白色リング)



写真4. スズキを捕らえたウミネコ

また、

- (4) 繁殖地域内の別のビル屋上や、東京都内湾運河部の人工構造物(2015 年以降ここでも繁殖が確認されている(奴賀, 他 2017))付近、さらには都心から 60km 以上離れた千葉県九十九里町で、マーキングされた幼鳥を確認。

の知見も得られ、巣立ち後～翌年の再飛来までの行動範囲の解明についても期待が高まっているところです。

## ■ 課題

予備調査からは、都心で繁殖するウミネコの生態の一部が明らかになったものの、以下については今後、詳細な調査が必要と考えられます。

### a) 屋上営巣地を形成する過程および環境条件

営巣防止策のために前年の同じ営巣地が利用できなくなった条件下で、どのような基準で新たな営巣地を選択・形成するのか、また定着時期はいつ頃なのか等を明らかにします。これは、人とウミネコの共存に有効な対策のヒントにつながる可能性があり、重要な項目と考えられます。

### b) 屋上営巣地を形成後の行動範囲、主要な餌場の特定

ウミネコの繁殖成績に影響する要因の解析等に役立てられることが考えられます。

### c) 巣立ち後のウミネコの飛来情報の収集

巣立ち後、都心のウミネコがどこに飛来しているかの情報を集めます。十分な情報が得られれば、他地域の繁殖地の個体群との交流の有無や、人との軋轢の生じない営巣地候補を探るのに必要な情報が得られる可能性があります。

## ■ 調査方法

今後の調査では、上記の課題を解決するため、都心のウミネコの繁殖期における行動圏をより詳細に把握することを目的として以下の調査を計画しています。

### ① 繁殖期前から繁殖終了後までの都心部ウミネコ分布調査

これまで繁殖が観察されてきた地域を中心に、3 月～8 月の間、ウミネコの生息状況を調査および情報収集し、屋上営巣地の特定と形成時期を推定。

### ② 屋上営巣地でのモニタリングとカラーマーキングによる標識

調査許可が得られた屋上営巣地について、繁殖成績等のモニタリングと、カラーマーキングによる成鳥、幼鳥への標識を実施。標識したウミネコについて、広く一般のバードウォッチャー等からの目撃情報を収集。

### ③ GPS データロガーによる行動圏調査

GPS データロガー(GPS 衛星を利用した位置情報収集機器)の装着によって対象個体の移動や行動の追跡調査が可能。記録は 1 日の移動を詳細に把握できるよう、取得間隔を 1 日複数ポイントに調整。

## ■ 寄付金の使用目的

カラーマーキング購入費や交通費(可能であれば調査用の船のチャーターを含む)などに使用する予定です。十分な資金が得られた場合は、GPS データロガーの購入費(最大で 5 台、約 30 万円を見込んでいます)にも充てさせていただきます。

## ■ 参考文献

富田直樹・成田章 (2017). ウミネコ繁殖地蕪島における 2012 年から 2016 年の繁殖モニタリング. 山階鳥学誌 48: 83-86.

奴賀俊光・小島一幸・永友繁・前川真紀子 (2017), 東京都内湾運河部の人工構造物上で初めて確認されたウミネコの繁殖記録. Bird Research 13: S1-S4.